

更なる成長・貢献を約束

今年度補正予算の必要性強調

足立としゆき君を励ます会 行

参議院議員「足立とし

ゆき君を励ます会」が28日、東京・千代田区のホテルグランドパレスで開かれ、政界から自民党幹部や現役大臣、建設業界から足立議員の支持者など約800人が、会場に詰めかけた。

開会に当たり、足立としゆきを後援する会の会長を務める陣内孝雄元参議院議員は、足立議員が

昨年7月10日の初当選か

ら1年間「獅子奮迅の活躍」をされているのは、支持者の支援の賜物だと評価。初心を忘れず、産業再生にひた走り、支持者の期待に、ますます沿うよう活躍することに期待を寄せた。

業界側からは、日本建設業連合会の山内隆司会長が代表して挨拶。足立議員の先輩「脇雅史先生、佐藤信生、秋先生など



のご尽力で実現した改正品確法にある受注者の適正利潤の確保は、

発注者の責務として着実に浸透してきた。このよう

なタイミングで脇先生

の後継として当選された足立先生への期待は大きく膨らむばかり」と評価し、更なる活躍を待望した。



その後、自民党の岸田文雄政調会長、竹下亘総務会長、林芳正文部科学大臣、小野寺五典防衛大臣、上川陽子法務大臣、佐藤信秋参議院議員が挨拶し、足立議員が即戦力として活躍していることを評価。足立議員の「育ての親」として紹介された自民党・宏池会名誉会長の古賀誠元衆議院議員は「本当の育ての親は奥様だ」と語り、夫人の労も労った。

高評価を受けて挨拶に立った足立議員は、7月10日に予定していた励ます会を、九州北部豪雨

の被災者に配慮して延期したことを、まずは参加者に陳謝。政治活動については現在「1つひとつ勉強しながら積上げていく」と報告した。

さらに、「災害対策をライフワークにしている」観点などから、インフラ整備の必要性にも触れ「それに必要な公共事業予算、特に今年補正予算が必要」であることを強調。建設業や建設関連産業の「未来を支えていくのも、私の仕事だ」とも述べ、これから政治家として更に成長し貢献していくことを誓った。

その後、脇雅史元参議院議員の発声Ⅱ写真Ⅱで懇親へと移り、最後は全国建設業協会の近藤晴貞会長の挨拶で会を締めくくった。